

## 平成30年度秋季講演会プログラム（案）

時間	講演題目	発表者(○印講演者)	司会者
8:55~09:00	開会の挨拶 (一社)日本高圧力技術協会 会長 辻 裕一 (東京電機大学)		
<b>一般セッション</b>			
9:00~9:20	①ハリケーンHarveyによる米国テキサス州の石油関連施設被害	吉田聖一(元横浜国立大学)	井上 健裕 (新日鐵住金株)
9:20~9:40	②圧力設備技術の国際活動及び規格化	田原隆康(株)セイコーウェーブ)	
9:40~10:00	③肉厚分布モデル適用による配管保温材下腐食速度に着目した潜伏期間推定	○酒井信介(横浜国立大学) 中原正大(旭化成株)	
10:00~10:20	④高圧水素容器用アルミニウム合金の湿潤ガス応力腐食割れ特性とき裂進展機構	○白輪地峻輝、蓮沼翔太、小川武史(青山学院大学)	
10:20~10:40	⑤開口部が圧力容器スカートの座屈強度に及ぼす影響	○高橋琢磨、宮下俊一、佐藤拓哉、片岡俊二、宇野義明(日揮株)	
10:40~11:00	⑥定量的リスクベースメンテナンス(RBM)のための一般破損頻度(GFF)データベースの構築と公開	○富士彰夫、木原重光(HPI特別研究員)、柏谷宏之、宮澤正純、石丸裕(委託研究員)、松田宏康(株)ベストマテリア)、畑岸真人(HPI)	
11:00~11:20	⑦ケミカルタンカー用二相ステンレスクラッド鋼板の開発	○黒沼洋太、小野知宏、横田智之、深井英明(JFEスチール株)、緒方洋典(株)臼杵造船所)、勝田順一(長崎大学)、矢島 浩(矢島材料強度研究所)	
11:20~11:40	⑧アルミ合金製鉄道車両について	川崎 健(株)日立製作所)	
11:40~12:40	昼 食 休 憩		
12:40~13:00	⑨高経年化ガラスフレークコーティング上からの超音波板厚測定	○関野晃一(神奈川県立産業技術総合研究所)、伊藤大輔(横浜国立大学)、関根和喜(HPI)、石原 優(JOGMEC)	中根 一起 (日立GE・ニュークリアエナジー株)
13:00~13:20	⑩高経年化コーティングに関するインピーダンスデータの視覚的解析による評価	○伊藤大輔、岡崎慎司(横浜国立大学)、関野晃一(神奈川県立産業技術総合研究所)、関根和喜(HPI)、石原 優(JOGMEC)	
13:20~13:40	⑪アルミニウム合金A6061-T6の最適疲労曲線	○志賀優多、山田敏弘、佐野 尊、小林英男(高圧ガス保安協会)	
13:40~14:00	⑫スプリット・ホプキンソン棒法によるSM400Cの衝撃引張特性評価	山田浩之(防衛大学校)	
14:00~14:20	⑬実験と解析を活用した高ひずみ速度域の材料特性予測に関する研究	○吉田伸司(株)テックシステム)、奥田幸彦(東芝エナジーシステム株)、波多英寛(熊本大学)、SIL2委員会	
14:20~14:30	休 憩		
<b>特別セッション「プラントマネジメント技術におけるAIの活用」</b>			
—特別講演—			
14:30~15:30	「機械学習を活用して業務改革を実現する」という仕事の型	河本 薫(滋賀大学)	吉川 暢宏 (東京大学)
15:30~15:50	⑭機械学習による石炭炊きボイラの状態予測	○米倉一男、齊藤弘樹、西津卓史(株)IHI)	
15:50~16:10	⑮AIの技術を用いたAE源のゾーン標定と分類	○水谷義弘、土田文哉(東京工業大学)	
16:10~16:30	⑯プラントデジタルツインを目指したAI活用への取組(仮題)	鈴木裕晶(千代田化工建設株)	
16:30~16:35	閉会の挨拶 (一社)日本高圧力技術協会 企画委員長 吉川暢宏 (東京大学)		